



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2019.3

No. 420

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



「道の駅 庄和」のツバメ

橋口 長和 (春日部市)

3月になるとツバメが帰ってきます。ここ春日部市(旧庄和町)の「道の駅 庄和」は、ツバメの集団営巣地として知られています。その様子と「道の駅 庄和」さんへのインタビュー(右ページの枠内編集部)を紹介します。

● **ここは、平成16年8月9日**に県内17カ所目の道の駅として誕生しました。国道4号線バイパスと国道16号線バイパスが交差する庄和ICから4号線を宇都宮方向に1km北上した所に位置しています。近くには農協の集荷場、総合病院、民家が散在していますが、田圃が広がり、ツバメの繁殖にはたいへん良い環境です。私はオープンと同時に利用してきましたが、関わり合いができたのは8年前に脱サラして農業を始め、生産者登録をしてからでした。

● **ツバメとの出会い**は平成23年の3月で、生産物を納入しに行くときツバメが巣作りをしていました。それまでお客として買い物をしていた時は気が付かなかつたけれど、生産物販売棟の納入者駐車場側の軒先にツバメの巣がびっしり並んでいるのではないですか。軒先の構造が二重になっており格好の巣台となっていました(写真下)。表側のお客様駐車場側(北側)に行ってみると巣跡は少なく、日当たりのよい南側が住み良いのかと微笑ましくなりました。



当時、県の鳥獣保護管理員になったばかりでもあり、施設管理者に日本野鳥の会のツバメの営巣資料を持ってお話を伺いに行きました。ツバメが営巣を始めたのは数年前から(ということはオープン直後から?) 来ているとのことでした。お客様が入り出す駐車場側については、巣を作ろうとしたら追い払うようにして営巣させないようにしていたとのこ

とでした。

当初は、お客様のなかにも不衛生だとクレームをつける人もいたそうです。しかし、衛生上十分に管理していることと、野鳥保護について説明をしてご理解いただいたとのことで、今では特段もめることはないそうです。

また、納入者駐車場側の仕分け作業をする場所には、雨除けも兼ねて屋根が増設されており、フンが商品にかからない施設管理者の気遣いが感じられます。

● **ツバメは毎年3月初旬ごろ**にやって来たらから徐々に増え、4月末には30つがい以上に増えます。2回、3回と繁殖を繰り返すつがいもかなりいます。6月ごろは親ツバメをサポートする子ツバメ(ヘルパー)の姿もいたるところに見られます。繁殖は7月末まで続きます。

平成30年7月22日にカウントしたところ営巣数は36カ所あり、繁殖終了が29巣、巣立ち前が7巣ありました。毎年40巣程がコンスタントに繁殖しているようです。

● **同年8月31日**、編集部と、施設管理者へインタビューに行きました。対応は業務課長Tさんがしてくださいました。繁殖は終わっており、ツバメの姿もありませんでした。

施設管理者は、ツバメが繁殖(産卵・抱卵)を始めると法律で巣の破壊や撤去ができないこともよく理解されており、質問に対する回答にも保護の考えがよく伝わってきました。

また、開業当初と比べ、お客様もツバメが繁殖している環境をご理解されているのかクレームがないという回答にも驚きました。

● **さらに**、約40巣ものまとまった数の繁



殖が1ヵ所で観察できるので、野鳥研究機関や大学院の学生が調査及び協力に来ているようです。その結果をもとに、左ページ右上のポスターを作製したそうです。

道の駅は2018年4月25日現在、国土交通省に1,145 駅登録されています。ツバメが繁

殖できる地域の道の駅は半分としても 600 ヵ所近くあります。ツバメも道の駅を利用してけると繁殖場所の心配はないように思います。ツバメは今年も姿を見せてくれると思います。ぜひ「道の駅 庄和」に来られてご覧になってください。

Q1 : ここ「道の駅 庄和」にたくさんのツバメが飛来する理由を教えてください。

A1 : まわりに自然が残っていて、且つ、人の出入りが多いからではないか。そのバランスがよいからだと思う。

Q2 : ツバメを呼ぶ工夫はしているのですか？

A2 : 巣をつくる場所が「コ」の字型になっていて、ツバメにとって都合がよいのでは。高さもちょうどいいのかもしれない。たくさん来る工夫は特にしていない。

Q3 : ツバメがたくさん来て良かった、と感じることはありますか？

A3 : お客様が見て喜んでいる。巣も見えやすい位置にある。そこからヒナがひっきりなしに顔を出して餌をねだっている、そんな様子がいたるところで見られる。そういう様子を見て、小さいお子さんや年配の人達が「かわいい、かわいい」と見とれている。

Q4 : 道の駅にとって良い効果はありますか。

A4 : それは分からない。

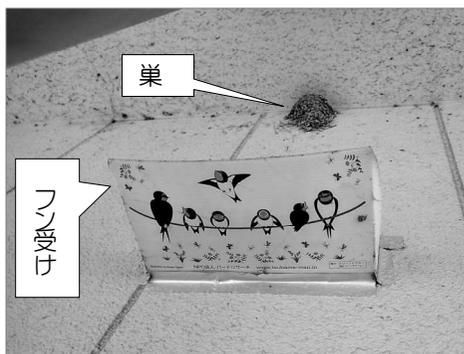
Q5 : お客様からのクレームはありませんか。その時はどのように対処していますか。

A5 : 今まで特にはない。土地柄かもしれない。お客様にフンが落ちてきたというような申し出等もない。フンがかからないように商品にブルーシートをかけることはある。

基本的には「温かく見守ってください」という態度で対応している。

Q6 : 巣を撤去しないわけを教えてください。

A6 : 食べ物を扱うところなので、巣をかけられては困る場所はある。その時は巣をかけた段階で撤去することもある。しかし、もう卵を産んだ、ヒナがいる、その時はフン受け（写真 右上）を十分にしてお巣立ちまで見守る。その「対応はなされている、手段は講じている」という姿勢が理解され



ているのかもしれない。

Q7 : 困ったことはないでしょうか？

A7 : お客様から「ヒナが落ちこちている」との申し出があった時だ。それは巣立ちかもしれない。巣立ちは自然の法則だと説明してもそのことはお客様には伝わらない。目の前で巣に戻すまでは安心されない。だからその都度、巣に戻す。今年も 20 回以上あった。

巣同士が近いとどの巣かわからない。その時はその中間に置く。

また、店内に入って来てなかなか出られなくなった時もあった。そのため、排煙窓を開けたこともある。

対応して下さった方は、どの質問にも丁寧にして真摯に答えてくださいました。この姿勢が、そして、早めの対応と手段がお客様にも伝わり、「今のところクレームはない」になっているのではないかと、思いつながら、ツバメの焼き印が入ったどら焼きを食べた次第。



野鳥記録委員会の最新情報

日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

● 亜種リュウキュウサンショウクイ

英名 Ashy Minivet

学名 *Pericrocotus divaricatus tegimae*

分類 スズメ目サンショウクイ科サンショウクイ属



片桐徳子会員より、2018年12月8日に見沼自然公園（さいたま市緑区）で撮影した左写真が寄せられました。検討した結果、当委員会は、サンショウクイの亜種リュウキュウサンショウクイで

あることを確認したので発表します。少なくとも2羽いたとのこと。

翌9日にも、松原卓雄さん（未入会の方）により写真が撮影されました。

また、これとは別に、12月16日に行われた武蔵丘陵森林公園探鳥会（比企郡滑川町）とそのアフターにおいて、公園内の異なる地点でそれぞれ1度ずつリュウキュウサンショウクイを観察した、との報告がありました。探鳥会に参加した星進会員より、アフターで撮影した写真が寄せられ、当委員会は、リュウキュウサンショウクイに間違いのないことを確認したので併せて発表します。

リュウキュウサンショウクイは、主に南西諸島に留鳥として生息する亜種ですが、以前から分布の北上・拡大が知られています。このたびの2件の事例のように、季節はずれにサンショウクイを見かけた場合などは、より注意深い観察が必要でしょう。私たちが思っている以上に、リュウキュウサンショウクイは身近なものになっているかもしれません。

本県内での写真を伴う観察報告としては、2016年11月8日のさいたま市岩槻区内での記録（本誌2017年3月395号）に続き、さい

たま市緑区が2例目、滑川町森林公園が3例目となります。

< はみ出し行事案内 >

茨城県・稲敷市浮島、神栖市小見川探鳥会（要予約）

期日：5月5日（日・祝）

集合：午前7時、東武春日部駅東口。

解散：午後10時ころ、東武春日部駅東口。

※解散時刻が遅いです。高速道路の渋滞等で最寄りの駅に立寄る場合があります。

交通：集合地から貸切バスを使用。

担当：入山、近藤、佐野、渡邊

費用：8,000円（バス代、保険料等）過不足の場合は当日清算。

定員：23名（応募多数の場合、先着順）最少催行人数16名。

申し込み：往復はがきに住所、氏名、電話番号を明記して入山博（XXXXXXXXXX）まで。3月1日消印から受付開始。

見どころ：午前中は浮島で、ムナグロ等のシギ達やヨシ原のコジュリンやオオセッカを観察します。前回は、夕方に小見川で1,000羽を超えるチュウシャクシギの罅入りを観察できました。シギはわからないな～と思う人、大歓迎です。GWの1日をみんなで楽しみましょう。

その他：雨天決行。昼食、雨具持参。



コジュリン（編集部）



野鳥情報

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇10月23日、ジョウビタキ♂1羽♀2羽とアオジ、今季初認。カケス2羽、イソシギ1羽、イカルチドリ2羽、セグロセキレイ2羽、ハクセキレイなど。モズが目立つ。11月17日、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、イカルチドリ、イソシギ、カイツブリ、マガモ♂、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、コゲラ、カワセミ、ウグイス、シロハラ、ツグミ、アオジ、エナガなど（鈴木紀雄）。

戸田市美女木 ◇10月31日午前11時46分、イソヒヨドリ♂1羽♀1羽。荒川水循環センター敷地内にいるのを彩湖の土手から見た（海老原教子）。

鴻巣市笠原 ◇11月6日、電線にズラッと並ぶ200羽+のミヤマガラスの群れ中にコクマルガラス約10羽。内淡色型1羽。11月25日、用水の中からフィールドに上がってきたケリ2羽（鈴木紀雄）。

加須市中種足 ◇11月6日、畑のフェンスにとまるオオタカ1羽（鈴木紀雄）。

久喜市菖蒲町小林 ◇11月6日、約30羽のズメとニューナイスズメの混群。電線にオオタカ、ノスリ各1羽。11月25日、ニューナイスズメ18羽（11月6日と同じ場所）。夕刻、川面で水浴びするムクドリ500羽、すごい羽音と鳴き声。近くにクサシギ2羽（鈴木紀雄）。

さいたま市見沼区片柳1丁目 ◇11月8日、農道わきの木にノスリ1羽（鈴木紀雄）。

さいたま市浦和区木崎3丁目 ◇11月10日朝、ジョウビタキ♂1羽が餌探し。11月12日、見沼代用水斜面林より「シーッ」と鳴きながらアカハラが飛び立つ（鈴木紀雄）。

白岡市総合運動公園 ◇11月15日、コサギ1羽、アオサギ1羽、カワセミ1羽、ハクセキレイ2羽、セグロセキレイ2羽。ヒバリ2羽が追いかけて。他に、換羽中のハシビロガモ、カルガモ、ヒドリガモ、マガモなど（長嶋宏之）。

戸田市道満 彩湖 ◇11月20日午前11時30分

～午後2時30分、薄曇り、無風。湖面は鏡の様。初めに迎えてくれたのがジョウビタキ♂。岸辺にカルガモ1番い、南端にカイツブリ幼鳥7羽と親鳥2羽。野球場の芝生にハクセキレイ2番い、スズメ、ヒヨドリ、ハシブトガラス。彩湖南端付近（幸魂大橋左岸）でオオバン50羽位の中にヒドリガモ、コガモ各1番い。中央にカンムリカイツブリ7羽、ユリカモメ60羽位、カワウ5羽。北端にホシハジロ、キンクロハジロ250羽位。その中にオカヨシガモらしき1番いがいたが、遠くて識別できなかった。残念！（陶山和良）。

川越市伊佐沼 ◇11月23日、カルガモ、コガモ、キンクロハジロ1羽、ヒドリガモ、カイツブリ、イソシギ、ハマシギ1羽、アオアシシギ1羽、イカルチドリ9羽、ダイサギ、アオサギ、コサギ、セグロセキレイ、ハクセキレイなど（鈴木紀雄）。

久喜市久喜菖蒲公園 ◇11月23日、亜種ダイサギの大きさをアオサギと比較して確認。カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カイツブリのカイツブリ科3種を楽しめた。オオバン20羽土が陸で採餌。ヨシガモが順光で綺麗だった。他にマガモ、カルガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、コガモ、オナガガモ、キンクロハジロなど（長嶋宏之）。

渡良瀬遊水地 ◇11月24日（54392595）、鷹見台先の池にてオオハクチョウ若鳥1羽。他にカルガモ、カワウ、ミコアイサ、チュウヒ、ダイサギ、アオサギ、トビ、カワラヒワ、カワウ、カンムリカイツブリなど。11月25日（54392585）、マガン2羽を確認した。他にダイブして魚を捕獲したミサゴとそれを横取りしようとするチュウヒなど。ミサゴはチュウヒを振り切って、そのまま山の方へと飛んでいった（荒川貴之）。◇11月26日、ミサゴ2羽、ノスリ1羽、トビ。夕刻5時で暗くなるまでにチュウヒ約20羽、埒入り（鈴木紀雄）。

久喜市菖蒲町下栢間 ◇11月25日午前7時5分、ツグミ4羽、今季初認。農道上の電線にとまる（小貫正徳）。

久喜市下種足 ◇11月25日、ミヤマガラス約

200羽の群れ中にコクマルガラス7羽。内淡色型2羽。11月6日の鴻巣市笠原の群れと同一と思われる（鈴木紀雄）。

蓮田市駒崎 N36.0111 E139.6245 ◇12月1日、田んぼでミヤマガラスが200羽ほどの群れにコクマルガラスが10羽土。内淡色型4羽（関口明宏）。



12月2日、同所で撮影（長嶋宏之）

蓮田市西城沼公園とその周辺 ◇12月1日、ハクセキレイ2羽、シジュウカラ5～6羽にヤマガラ2羽が混じっていた。12月7日、ジョウビタキ♂1羽、亜種オオカワラヒワ3羽、12月14日、カルガモ32羽、12月になって数が徐々に増えてきた（長嶋宏之）。

さいたま市岩槻区城町2丁目 ◇12月1日、電線に並ぶカラス約100羽の中に数羽のミヤマガラスが混じる（鈴木紀雄）。

越谷アリタキ植物園 ◇12月2日午前9時過ぎ、アオバト1羽（下写真）。温室方向に進みセイヨウバクチノキ手前付近の樁に止まっていた。この近辺では見たことがない色の鳥だった（團本謙次）。



さいたま市緑区芝川第一調節池 ◇12月2日午後1時頃、調節池の中の浮島の根元にハイタカ幼鳥1羽。武蔵野線側の土手から5

人でしっかり見る（磯崎知子、藤田敏恵、中橋由美子、古戸明美、海老原教子）。

川口市JR東川口駅付近 ◇12月6日午後4時40分、東川口駅南口のバスロータリー内の2本の木にムクドリ千羽以上の群れが埒入りのため飛来。上空を一つの固まりがうねるように飛び回り、反転するたびに形が変わり、なかなかの迫力（藤原寛治）。

春日部市粕壁 ◇12月9日、古利根公園橋上流でオシドリ♂1羽、左の初列風切の一部が欠損していた（下写真）。他にカルガモ4羽、コガモ♂2羽、ヒドリガモ1羽。他にオオバン1羽。公園橋下流でダイサギ、ユリカモメ25羽+。オオバン、カルガモ、ヒドリガモの群れが河川敷で採餌（藤原寛治）。



加須市加須はなさき公園 ◇12月10日、亜種オオカワラヒワ50羽土、ヒドリガモ50羽土、ハンビロガモ♀1羽、コガモ6羽、カルガモ多数、カイツブリ1羽、オオバン3羽、他にホオジロ、シメ、ツグミなど（長嶋宏之）。

さいたま市緑区下野田(53396577) ◇12月12日午前7時45分、区画整理の道路工事現場上空でチョウゲンボウ1羽、ゆっくり飛び回りながら、時々ホバリングしていた。通勤途中、信号待ちの車の中から観察（藤原寛治）。

表紙の写真

ハヤブサ目ハヤブサ科ハヤブサ属ハヤブサ

1月11日 AM6:58～7:37、川越市郊外にて。朝焼けの大地を踏みしめるハヤブサ。

田口勝利（さいたま市）



行事案内



クイナ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

持ち物：健康保険証、筆記用具、雨具、飲み物。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合、正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

戸田市・彩湖探鳥会

期日：**3月2日(土)**

集合：午前 9 時 30 分 荒川彩湖公園駐車場

交通：JR 武蔵野線南浦和 8:46→西浦和 8:51。

西浦和駅から集合地まで担当が案内します。

担当：石塚(敬)、石塚(真)、今村、小林(み)、野口、藤田

見どころ：11 月から続いた当地での探鳥会も、いよいよ今季最後。冬鳥達を見送ります。

行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：**3月2日(土)**

集合：午前 8 時 30 分、県立さきたま史跡の博物館前レストハウス。

交通：JR 行田駅東口から、行田市内循環バス・観光拠点コース左回り 7:55 発で「埼玉古墳公園前」下車、徒歩約 2 分。

担当：相原(修)、相原(友)、大坂、岡安、竹山、内藤、村上(政)、茂木

見どころ：公園の林、周辺の田畑を経て旧忍川沿いをオオジュリン等の小鳥やクイナなどの水鳥を探しながら公園に戻ります。

千葉県銚子市・銚子漁港探鳥会 (要予約)

期日：**3月2日(土)**

詳細は 1 月号 6 ページをご覧ください。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：**3月3日(日)**

集合：午前 9 時、環境学習館前。

交通：JR 宇都宮線 蓮田駅東口から朝日バス 8:50 発国立東埼玉病院行きで「新井団地」下車。バス停からご案内します。

担当：小林(み)、石井(健)、青木、内田、田中、長嶋、長野、菱沼(一)、菱沼(洋)、廣田

見どころ：沼では水鳥やクイナ、ヨシ原でベニマシコやアオジなど、畑ではタヒバリ類、上空ではタカ類などが期待できます。

ご注意：車の方は“緑のトラスト保全第 11 号地 黒浜沼駐車場”を利用してください。

集合地点の環境学習館は駐車できません。

寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：**3月3日(日)**

集合：午前 9 時 40 分、寄居駅南口駅前広場。

交通：秩父鉄道 熊谷 9:01 発、または東武東上線 川越 8:28 発→小川町乗り継ぎで寄居下車。

担当：茂木、井上、今村、鶴飼、堀口、松下

見どころ：寄居駅からスタートし春爛漫の荒川沿いを鉢形城入口まで歩きます。途中にサプライズがあるかも。冬鳥と春鳥が交互に出現します。楽しみが倍増します。

滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：**3月5日(火) 平日**

集合：午前 9 時 20 分、森林公園南入口前広場。

交通：東武東上線 森林公園駅北口から熊谷駅南口行きバス 9:00 発で「滑川中学校」下

車、歩道橋を渡り少し戻る。一つ手前の「森林公園南口入口」は通過してください。
費用：参加費と入園料大人 450 円、中学生以下無料、65 歳以上 210 円(要年齢確認)。
担当：中村(豊)、大坂、大畑、岡安、鈴木(秀)、内藤、藤掛、藤澤、松下
見どころ：片道約 3 km のやや起伏のあるコース。耳を澄ませばヤマガラ、シジュウカラ。ウグイスも初鳴きの頃。解散後、再び南口までの鳥見をする方は昼食をお忘れなく！

さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：3月9日(土)
集合：午前9時、見沼自然公園駐車場南側のベンチ付近。
交通：JR 大宮駅東口⑦番バス乗り場 8:23 発「さいたま東営業所」行きで「締切橋」下車。締切橋バス停から担当が案内します。
担当：浅見(徹)、大井、柏瀬、河邊、工藤、小林(み)、野口、山田
見どころ：「見沼たんぼクリーン大作戦」に参加。公園周辺で、身近な野鳥を観察しながらゴミ拾い。軍手、ゴミばさみ(あれば)をご持参ください。ゴミ袋は用意します。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：3月9日(土)
集合：午前9時30分、西武狭山湖線 西武球場前駅前。
担当：石光、小林(ま)、佐藤(久)、島崎、鈴木(秀)、長谷部、水谷、村上(将)、持丸
見どころ：これまで3月下旬～4月上旬に開催していたシーズン終幕の当地探鳥会を思い切り繰り上げて開催。果たして結果は？

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月10日(日)
集合：午前9時40分、秩父鉄道 大麻生駅前。
交通：秩父鉄道 熊谷9:21 発、または寄居8:59 発に乗車。
担当：新井、石塚(敬)、鶴飼、大畑、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上(政)、茂木
見どころ：3月の大麻生といえばレンジャク。今年もヤブランの実は豊作ですが……。
お知らせ：「ビギナー探鳥会」を同時開催。

栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月16日(土)
集合：午前9時30分、東武日光駅前。 ※駅から探鳥スタート。車の方も駅へ。
交通：春日部7:36 発東武スカイツリーライン 区間急行→南栗橋着 07:53 で東武日光線急行に乗り換え 08:00 発→東武日光 9:16 着。
解散：午後2時ごろ、神橋付近で。
担当：浅見(徹)、植平、佐藤(宏)、佐野
見どころ：カワガラスやミンサザイを求めて、大谷川～稲荷川に沿って歩きます。全行程約 8 km、緩い上り下りがあります。足ごしらはしっかりと。昼食持参。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：3月16日(土) 午後3時～4時ごろ
会場：会事務局 108 号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：3月17日(日)
集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
交通：JR 北浦和駅東口、正面信号を左側から渡り、50 m先左手バスターミナルから東武バス「さいたま市立病院行き」8:23 発で終点下車。
後援：さいたま市立浦和博物館
担当：青木、浅見(徹)、楠見、小菅、小林(み)、須崎、新部、畠山
見どころ：初心者向け三室定例探鳥会。冬鳥と夏鳥両方期待出来る月です。皆さまのお越し、お待ちしております。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：3月20日(水) 平日
集合：午前9時、羽生水郷公園北駐車場。
交通：羽生市福祉バスの手子林・三田ヶ谷ルート(ムジナもん号)を利用。東武伊勢崎線 羽生駅東口 8:04 発→南羽生駅 8:21 発→「キャッセ羽生・水郷公園」下車、県道を渡り公園へ。
共催：羽生水郷公園管理事務所
担当：相原(修)、相原(友)、新井、植平、竹山、飛田、中川、茂木
見どころ：去り行く冬鳥達、ヨシ原のオオジ

ユリンやベニマシコ、水辺のカモやクイナ類、タカ類にも期待しつつ、早々とやって来たコチドリを探します。

注意：帰りのバスは14:50発です。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月21日（木・祝）

集合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐車場。
交通：東武伊勢崎線 北越谷駅東口①番バス乗り場から茨急バス・エローラ行き 8:48 発で「松伏高校前」下車。または武蔵野線吉川駅北口③番バス乗り場から茨急バス・エローラ行き 8:40 発で「松伏高校前」下車。
松伏高校の向かい側が、集合場所です。

担当：山部、植平、佐藤(宏)、佐野、進士、野村、橋口

見どころ：公園とその周辺の農耕地を歩きます。公園では森林性の小鳥と池の水鳥、農耕地では開けた土地の野鳥たちに注目。

埼玉 Young 探鳥会 八丈島航路海鳥観察会(要予約)

期日：3月22日（金）～23日（土）

詳細は2月号をご覧ください。

秩父市・秩父ミュージックパーク探鳥会

期日：3月23日（土）

集合：午前9時10分、西武秩父駅前。集合後、ミュージックパーク循環バス 9:25 発で「音楽寺」下車。または午前9時40分、ミュージックパーク内の百花園駐車場。

交通：秩父鉄道 熊谷 7:39 発→御花畑 8:51 着→〈徒歩8分〉→西武秩父 9:01 着。または所沢 7:30 発（西武池袋線快速急行）→西武秩父 8:47 着。

解散：昼食後、午後1時半ごろに現地。西武秩父駅行きのバスは 14:24 発（秩父駅 14:33 着、西武秩父駅 14:45 着）。

担当：長野、青木、井上、佐野

見どころ：当会では唯一の秩父市内での探鳥会（予約は除く）です。カラ類やキツツキ類を中心に観察します。ウソに出会えればラッキー。武甲山をバックに猛禽類やツバメの飛翔する姿も期待しましょう。ルートは若干のアップダウンがありますので、足

ごしらえをしっかりと。

ご注意：弁当を事前に用意・持参してください。園内に売店ははありません。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月24日（日）

集合：午前9時、西武新宿線 狭山市駅西口。
交通：西武新宿線 本川越 8:42 発、所沢 8:39 発に乗車。

解散：正午ころ、稲荷山公園。

担当：長谷部、石光、佐藤(久)、島崎、鈴木(秀)、高草木、中村(祐)、藤掛、星、水谷、山口、山本

見どころ：寒いのが苦手な人もそろそろ出かけてみませんか。河原を歩けば春の花が咲きツバメも飛んでくれるでしょう。例年通りカタクリを見るコースを歩きます。

加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：3月24日（日）

集合：午前8時10分、東武日光線 柳生駅前。
または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武線 新越谷 7:19→春日部 7:36→南栗橋で新栃木行きに乗り換え柳生 8:07 着。または JR 宇都宮線 大宮 7:03→栗橋 7:38 着、東武線新栃木行き 7:57 発に乗り換え柳生 8:07 着。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン。

担当：佐野、入山、植平、佐藤(宏)、進士、野口、山田

見どころ：新春の遊水地で夏羽に換羽中のベニマシコやオオジュリンを探します。気の早いツバメが見られるかも。

その他：当日はヨシ焼きの第3候補日(第2予備日)です。ヨシ焼き実施の場合は、探鳥会は中止です。予めご了承ください。

ヨシ焼き実施状況は「平成31年渡良瀬遊水地ヨシ焼き」でサイトを検索して確かめるか、渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 0282-62-1161、利根川上流河川事務所 藤岡出張所 0282-62-2142、加須市北川辺総合支所環境経済課 0280-61-1205 などにお問い合わせください。

※p4に <はみ出し行事案内> があります。



行事報告

10月28日(日) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

参加: 47名 天気: 晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ
コガモ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサ
ギ アオサギ ダイサギ バン オオバン イカ
ルチドリ コチドリ イソシギ コゲラ ハヤブ
サ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヒ
ヨドリ メジロ ムクドリ スズメ ハクセキレ
イ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ ア
オジ (30種) 夏を思い起こす高温のため、冬鳥
の飛来が遅れているようだ。公園の池のカモも5
種しか見えない。周辺の屋敷林でも冬鳥の姿がな
い。しかし、古利根川ではいつものシギ・チドリ
類が楽しませてくれた。(橋口長和)

11月23日(土) 栃木県奥日光 千手ヶ浜

参加: 32名 天気: 雪後晴

マガモ ホシハジロ キンクロハジロ カワアイ
サ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ カ
ワウ アオサギ オオバン イカルチドリ トビ
オジロワシ オオタカ ノスリ コゲラ ハシブ
トガラス コガラ エナガ ゴジュウカラ キバ
シリ カワガラス ツグミ セグロセキレイ ア
トリ カシラダカ (25種) 最初の観察地のポー
トハウスに着いた時の気温は1℃で、小雪が舞っ
て非常に寒かった。ハウスの中で身支度をしながら
寒さに体を慣らして湖面のカモ等を観察。小雪
が止んだ時に対岸を飛んでいるオジロワシを見ら
れた。午後は千手ヶ浜へ移動してオオワシを探し
たが今回も見られなかった。残念!! しかし、川
の中州にアオシギの落鳥を発見し、それをじっくり
見た(アオシギは、リーダーの近藤さんが剥製
にして年末講演会で展示)。(入山 博)

11月24日(土) 蓮田市 黒浜沼

参加: 53名 天気: 曇

キジ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ
カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カ
ワウ アオサギ ダイサギ クイナ オオバン

クサシギ トビ オオタカ ノスリ カワセミ
コゲラ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシ
ブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス
メジロ ムクドリ ツグミ スズメ ハクセキレ
イ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ
カシラダカ アオジ (37種) マラソン大会とぶ
つかりコースも被る。不安の中の探鳥会だったが、
結果は大成功! ①全員がゆっくりクイナを堪能、
②オオタカ(若)の狩りの様子を全員がゆっくり
と堪能! オオタカは若いせいか何度も飛び掛かっ
ては失敗、飛び掛かっては失敗するので参加者が
全員ゆっくり見られた。(青木正俊)

11月25日(日) 狭山市 入間川

参加: 46名 天気: 晴

マガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバ
ト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオ
バン イカルチドリ トビ オオタカ カワセミ
コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス
ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス
エナガ メジロ ムクドリ ジョウビタキ スズ
メ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ
カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (34種) (番
外: ドバト) 今年もオオバンがやってきた。い
つの間にかカモよりも多くなり、入間川の冬の景
色になっているようだ。冬鳥は種類、個体数とも
に少ないが、出現鳥はまあまあ。青空をバックに
オオタカが飛び、カワセミもよく見られた。

(長谷部謙二)

11月28日(水) 戸田市 彩湖

参加: 47名 天気: 晴

キジ オカヨシガモ マガモ コガモ ホシハジ
ロ キンクロハジロ カイツブリ カンムリカイ
ツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ
オオバン ユリカモメ カモメ セグロカモメ
ハイタカ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシ
ブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス
メジロ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセ
キレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシ
コ ホオジロ (33種) (番外: ドバト) 今回から
集合場所を変更した。これまで車を停めた後、息
を切らしながら彩湖を縦断してグリーンパークの
集合場所まで来ていた方たちはかなり楽になった
と思う。湖面のカモ類は5種、カイツブリ類は2

種。前日見られたハジロカイツブリは見られず。ブイに並んだカモメ類、ユリカモメばかりかと思ったら、セグロカモメにカモメもいた。ここは、県内ではいちばん海に近い探鳥地。油断禁物である。冬の小鳥類はちょっとまだ寂しい状況。来月に期待しよう。(小林みどり)

12月1日(土) 加須市 渡良瀬遊水地

参加: 37名 天気: 晴

キジ オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ミミカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン セグロカモメ ミサゴ トビ チュウヒ ノスリ カワセミ コゲラ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ アオジ オオジュリン (47種) (番外: ドバト) 中の島を過ぎたあたりから茂みでフィッ・フォ。遅れていたベニマシコが間に合ってくれた。猛禽類の常連達も全員集合。そして何といってもサプライズはミミカイツブリ。横長で黒白の境界が直線的な横顔から間違いないと判定。調べてもらおうと当探鳥会での観察は2008年1月20日以来で、約11年ぶりだった。(佐野和宏)

12月1日(土) 狭山市 入間川 Young

参加: 31名 天気: 晴

マガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ コサギ オオバン イカルチドリ イソシギ トビ ハイタカ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス キクイタダキ ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ シメ ホオジロ アオジ (33種) (番外: ドバト) 穏やかな冬晴れのなか、親子連れ・若い女性の参加が多く、和気あいあいとした雰囲気での探鳥会となった。入間川沿いではさっそく冬鳥のジョウビタキに会えた。トビが空を舞い入間川では水鳥たちがくつろいでいる。カワセミも中州の石の上でリラックスし、入間川のアイドル(?) イカルチ

ドリにも会えた。稲荷山公園に入るとカラ類の混群が賑やか。解散場所に着くと木の中を飛び回るキクイタダキ! 総立ちだった。(廣田純平)

12月2日(日) 北本市 石戸宿

参加: 53名 天気: 晴

マガモ コガモ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ クイナ バン トビ ハイタカ コゲラ アカゲラ モズ カケス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (30種) (番外: ドバト) 朝から寒い。沢山渡って来たことを期待。草地でシメの採餌を至近距離から望遠鏡で観察。エノキの実を食べていた。傍の湿地の木にツグミが飛来。ジッとしていて動かない。樹冠に小鳥が飛び込む。カシラダカ。空抜けの3羽を望遠鏡で観察。高尾の池でアオサギがウシガエルを飲み込もうと悪戦苦闘。咽喉に痞えて苦しそう。吐いてはくわえを繰り返すが時間切れで観察終了。全体的には数が少なかったが、まだ少ないツグミ、カシラダカをジックリ見られたのは良かった。(吉原俊雄)

12月2日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 55名 天気: 晴

オカヨシガモ ヨシガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ バン オオバン ユリカモメ ミサゴ チュウヒ カワセミ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ アオジ (41種) (番外: ドバト) 雲が優勢の空模様で、肌寒い中スタートした。調節池はカンムリカイツブリが点在し、ユリカモメがひらひらと舞う。ヨシ原ではコサギが集団採餌。残念ながらハクチョウ類は見られなかったが、「白」が目立った探鳥会となった。(須崎 聡)

12月6日(木) 加須市 渡良瀬遊水地

雨のため中止。

(小林みどり)



●茨城県の野鳥たちのための署名運動

前号本欄でご紹介した日本野鳥の会茨城県の「野鳥と共存するハス田となることを強く要望する」署名活動につき、1月20日の当会役員会で、「2月末までの目標全国で10,000人のところ、現在全国で約5,700人」との報告が、担当の小林みどりからありました。

締め切り間近。最後までご協力をお願いします。日本野鳥の会茨城県のホームページから趣意書や署名用紙をダウンロード、署名用紙に署名して、記載されている同会宛て郵便でお送りください。

●出張普及部会開催

1月6日(日)午後1時30分から越谷市千間台記念会館で開催。13名出席。

①5～8月の行事予定

②夏期の新規企画

③東部地区でのリーダー確保

などについて話し合い、終了後駅近くの居酒屋で懇親会を開きました。

●会員の普及活動

1月15日(火)、上尾市丸山公園で開催された上尾市自然学習館学習指導員研修で小林みどりが指導。野外研修(公園内で探鳥)と室内研修(公園内で見られた鳥についての解説・ラインセンサスによる定期的な調査について)。受講した指導員3名。

●ごめんなさいコーナー

前号3ページ左段「真冬は、沿道で水仙が香り、ヨシを背にサギ類が日向ぼっこ。セグロセキレイが上空をパトロール。」の

「セグロセキレイ」は、「セグロカモメ」の誤りでした。

●会員数は

2月1日現在1,577人です。

活動と予定

●1月の活動

1月12日(土)2月号校正作業(海老原教子、海老原美夫、志村佐治、藤掛保司、長嶋宏之、山部直喜)。

1月20日(日)役員会(司会:榎本秀和、各部委員会等の報告、次年度役員会についての意見交換など)。

1月21日(月)『野鳥』誌と同封発送しない会員向け『しらこぼと』2月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

●3月の予定

3月2日(土)編集部会。普及部会。

3月9日(土)4月号校正(午後4時から)。

3月16日(土)袋づめの会(午後3時から)。

3月17日(日)役員会(午後4時から)。

編集後記

年とともに、寒さに弱くなってきたような気がします。寒さに震えながら、春爛漫を焦がれています。今月号の行事案内には、もう夏鳥の話題がちらほら。でも、今は1月末なのです。発行月の前の前の月の末が原稿締め切りです。皆、寒さの中で春を夢見て「見どころ」を書いています。春よ、来〜い。(浅見)

1月末、石垣島に行って来ました。代掻きが始まっており、トラクターの後ろにアマサギが群れていました。「9月には、埼玉で稲刈りに群れていたのに」と見入ってしまいました。(山部)

しらこぼと 2019年3月号(第420号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 郵便振替 00190-3-121130 URL http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org
 編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社